

校長室の窓から

【NO.9】

新型コロナウイルスと熱中症の予防に気をとられてしまう毎日ですが、いつ起きるかわからない災害を想定して、今年ならではのやり方を工夫して避難訓練を行いました。

“やることの意味”がわかって

自分で考えて

“自分の命は自分で守る”自分に！

【避難訓練での校長の話の要旨】

今年は、新型コロナウイルスの影響で、たくさんの行事ができなくなってしまったけれど、避難訓練だけは、どうしてもやりましょうと先生方と話し合っ、今日、9月1日の防災の日に、避難訓練をやりましたが、どうして避難訓練だけはやろうと思ったか、わかりますか？

それがわかっている人は、今日の避難訓練、しっかりできたと思います。



いつもは全校でやる避難訓練を、今日は学年毎でやってもらいましたが、1時間目から4時間目まで、校長先生は、みんなはどんな気持ちでやっているのかなと様子をしっかり見させてもらいました。

どの学年も、先生方の指示をしっかりと聞いて、テキパキ動いて、とてもよくできていて安心しました。

【自分ごととして真剣に】

去年の台風19号のときのように、火事や地震や災害が、いつ私たちに襲ってくるかわかりません。

人ごとではないのです。

避難訓練をやることの意味がわかり、本当に自分のこととして、真剣にできるということが、今まで以上にとても大切だという中で、今、私たちは生きているんだと思わなければなりません。

避難訓練でできないことは、いざというときは絶対にできません。
「避難訓練をやっておいて良かった」と、実際、災害にあった人たちが言っていました。



先生方にやってもらっている、先生方にやらされている訓練では意味がありません。

訓練をやることの意味がわかり、訓練を通して、自分で考えて、「自分の命は自分で守るように動ける自分」になることが大

【いつもの訓練と同じように】切です。

今日の避難訓練が、みんな、一人一人にとって、自分の命を守るために役に立つ訓練だったか、もう一度、自分を見つめ、クラスの友達や先生とも振り返ってみてください。



【お知らせ・行事予定変更について】

※「新5・3・1年クラス発表・保護者会」「PTA常任委員会」を、
3/24(水) ⇒ 3/26(金)

に変更させていただきます。(保育園の卒園式との関係で)

どうぞよろしくお願いいたします。【文責：田中寿一】